

XLR アダプターキット

XLR Adaptor Kit

Kit adaptateur XLR

XLR 适配器套装

取扱説明書 / Operating Instructions /
Mode d'emploi / 使用说明书



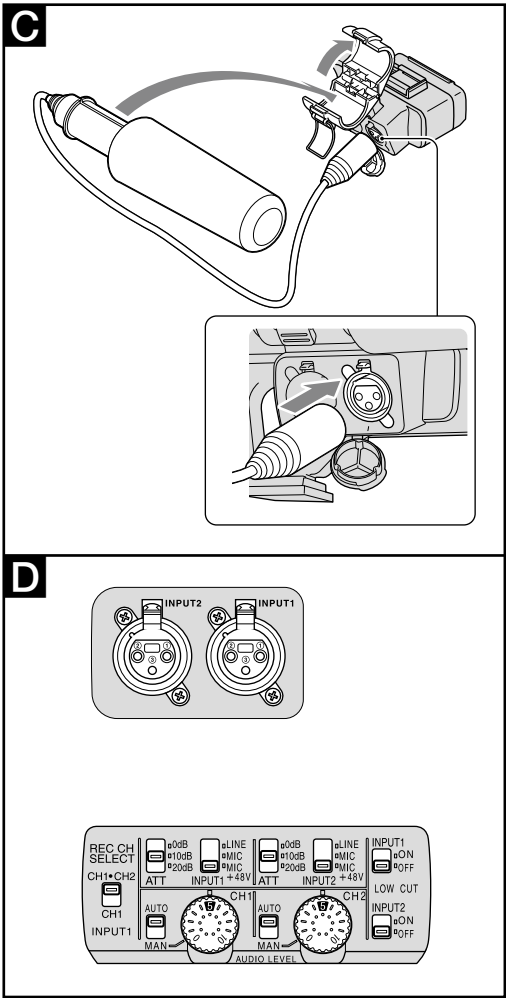
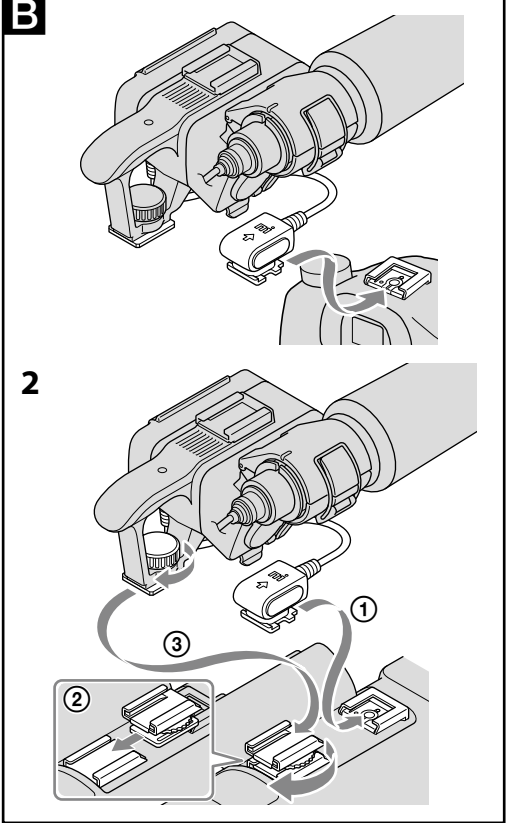
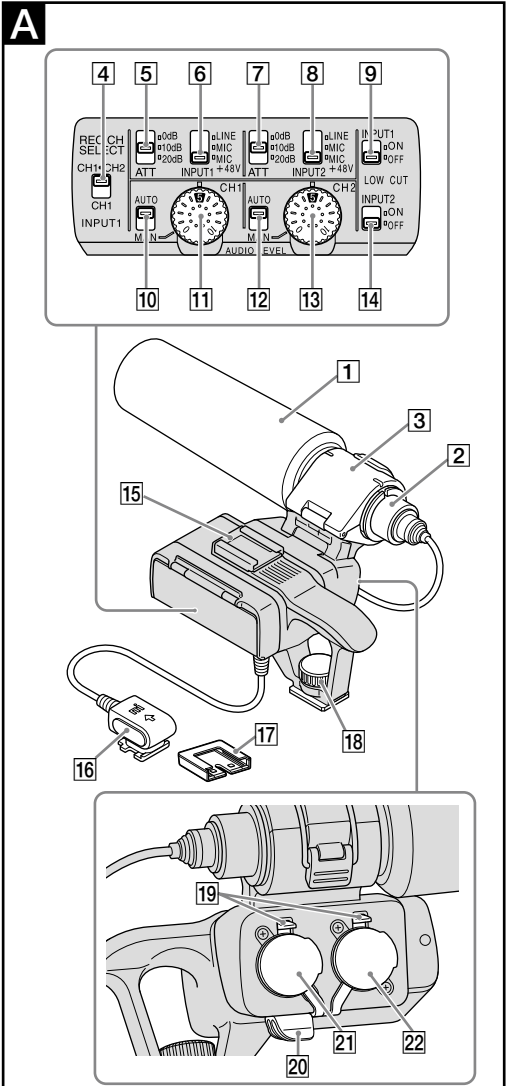
XLR-K1M

© 2012 Sony Corporation Printed in Japan



警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

http://www.sony.net/



日本語

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る**
この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。
- 故障したら使わない**
動作がおかしくなったり、コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口へ相談する。
- 万一、異常が起きたら**

変な音やにおい、煙が出た場合は → 電源を切る
→ ソニーの相談窓口へ相談する

警告表示の意味
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号 行為を禁止する記号

火災 感電 禁止 分解禁止

警告 下記の注意事項を守らないと、火災・感電により大けがの原因となります。

火災 感電

製品および同梱物を、乳幼児の手の届く範囲に放置しないでください。
乳幼児の手の届かない場所に置き、口に入れないよう注意する。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

内部に水や異物を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ソニーの相談窓口にご相談ください。

注意 下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

内部を開けない
感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はソニーの相談窓口へご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない
故障の原因となります。

落としたりぶつけたりしない
故障の原因となります。

主な特長

本機はマルチインターフェースシュー搭載機器対応のXLRアダプターとマイクロホンのキットです。マルチインターフェースシューを搭載していても使用できないカメラがあります。対応機種はWEBをご確認ください。

取り扱い上のご注意

- マイクロホンは精密機器です。落としたり、たたいたり、強い衝撃を与えないでください。
- 使用中、マイクロホンをスピーカーに近づけると“ピー”という音が発生することがあります(ハウリング現象)。その場合は、マイクロホンとスピーカーの距離をできるだけ離すか、スピーカーの音量を下げてください。
- アクセサリシューに取り付けけるビデオライトなどは500g以内のものをこ使用ください。

A 各部の名前

- ウインドスクリーン
- マイク
- マイクホルダー

- REC CH SELECT (INPUT1) スイッチ
- ATT (INPUT1) スイッチ
- INPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチ
- ATT (INPUT2) スイッチ
- INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチ
- LOW CUT (INPUT1) スイッチ
- AUTO/MAN (CH1) スイッチ
- AUDIO LEVEL (CH1) ダイアル
- AUTO/MAN (CH2) スイッチ
- AUDIO LEVEL (CH2) ダイアル
- LOW CUT (INPUT2) スイッチ
- アクセサリシュー
- 接続端子
- 端子保護キャップ
- 固定ダイヤル
- リリースレバー
- ケーブルホルダー
- INPUT2 端子
- INPUT1 端子

外部音声の入力：21、22
音源の選択：6、8
音源レベルの選択：5、7
録音するチャンネルの選択：4
録音レベルの選択：10、11、12、13
周音低減の入切：9、14

B XLRアダプターを取り付ける

- 端子保護キャップをはずす。
- XLRアダプターの接続端子をカメラのマルチインターフェースシューに取り付ける。
- XLRアダプターをブラケットのシューなどに取り付け、固定ダイヤルをしっかりと締める。
 - ブラケットは本機に付属していません。

マルチインターフェースシュー搭載のソニー製レンズ交換式デジタルHDビデオカメラレコーダーをお使いのとき(イラスト B-2参照)

XLRアダプターの接続端子を取り付けた後に本機に同梱されているシュースペーサーをカメラのアクセサリシューに取り付けてください。

XLRアダプターを取りはずすには

接続端子をマルチインターフェースシューからはずした後、XLRアダプターの固定ダイヤルをゆるめてはずす。

C マイクを取り付ける

- マイクホルダーのロックをはずし、取り付け部のカバーを開ける。
- マイクをマイクホルダーの取り付け部に入れ、カバーを閉じ、マイクホルダーをロックする。
マイクは、型名 (ECM-XM1) が記された部分が上になるように取り付けます。
- マイクケーブルをXLRアダプターのINPUT1端子につなぐ。
接続する機器が1つの場合は、INPUT1端子につないでください。
- マイクケーブルをXLRアダプターのケーブルホルダーに取り付ける。
音声の設定については、「D 音の設定をする」をご覧ください。

マイクケーブルを取りはずすには

- マイクをマイクホルダーから取りはずす。
- リリースレバーを下げながら、プラグを持って引き抜く。

D 音の設定をする

付属マイクを使う

指向性のモノラル音声を取録できます。

- INPUT 1 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチを「MIC+48V」に切り換える。

- REC CH SELECT (INPUT1) スイッチを「CH1・CH2」に切り換える。
この設定で、同じ音声声がCH1、CH2の両方に録音されます。CH1だけに録音したいときは、「CH1」にしてください。

録音レベルを調節する

INPUT1端子/INPUT2端子から入力した音声の録音レベルを調節できます。
内蔵マイクとMIC入力端子の録音レベルは調節できません。

- 調節するチャンネル (CH1またはCH2) のAUTO/MANスイッチを「MAN」にする。
- AUDIO LEVELダイヤルを回して、適正なレベルになるように音量を調節する。
適正なレベルになっているか、ヘッドホンやオーディオレベルメーターで確認してください。

自動調整に戻すには
AUTO/MANスイッチを「AUTO」にする。

風切り音を低減する

INPUT1端子/INPUT2端子から入力した音声の風切り音を低減できます。

LOW CUT (INPUT1) スイッチまたはLOW CUT (INPUT2) スイッチを「ON」にする。

外部音声機器などを使う

付属マイク以外のマイクや外部音声機器 (ミキサーなど) を使うには、以下のように設定してください。

- 入力する音源を選ぶ
INPUT1端子/INPUT2端子に接続する機器に合わせて、INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチを設定します。
外部音声機器 (ミキサーなど)：LINE
ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク：MIC
+48V電源 (ファンタム電源) 対応のマイク：MIC+48V

- ご注意**
- MIC+48Vにしたままで+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続した機器の故障の原因になりますので、接続する前にご確認ください。
 - 接続しない端子のノイズが気になるときは、INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチを「LINE」にしてください。
- マイクの入力レベルを設定する。
INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチが「MIC」か「MIC+48V」のときは、ATT (INPUT1/INPUT2) スイッチで入力レベルを設定できます。マイクの感度に応じて調節してください。
付属のマイクロホン (ECM-XM1) の場合は、ATT 10dBがおすすめです。
入力レベルは、以下ようになります。
ATT 0dB：-60dBu
ATT 10dB：-50dBu
ATT 20dB：-40dBu

- ご注意**
- INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチがLINEのときは、入力レベルは+4dBuに固定されます。ATTスイッチを切り換えても入力レベルは変わりません。

- 録音するチャンネルを設定する。
REC CH SELECT (INPUT1) スイッチで、録音するチャンネルを選びます。

REC CH SELECT (INPUT1) スイッチの位置	CH1、CH2に録音される音声	
CH1・CH2	INPUT1	CH1 CH2
CH1	INPUT1 INPUT2	CH1 CH2

- XLR (3PIN) プラグが2個ついているステレオマイクを使うにはINPUT1端子にLch、INPUT2端子にRchを接続し、REC CH SELECT (INPUT1) スイッチをCH1に設定します。

主な仕様

最大外形寸法 (約)：111 mm × 85.5 mm × 118 mm
(幅／高さ／奥行き) (突起物、コード含まず)
マイクロホン (ECM-XM1) 42 mm × 193 mm
(直径／長さ)
(ウインドスクリーン含む／コード含まず)
質量 (約)：XLRアダプター (XLR-A1M) 本体 217 g
マイクロホン (ECM-XM1) 118.5 g
動作温度：0℃～40℃
保存温度：-20℃～+60℃
入力端子：INPUT1/INPUT2端子：XLR型3ピン、凹
MIC：-60/-50/-40 dBu、3 kΩ
LINE：+4 dBu、10 kΩ
(0 dBu=0.775 Vrms)

同梱物：XLRアダプター (XLR-A1M) (1)
マイクロホン (ECM-XM1) (1)
ウインドスクリーン (1)
シュースペーサー (1)
端子保護キャップ (1)
キャリングケース (1)
印刷物一式

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

“Multi Interface Shoe (マルチインターフェースシュー)” はソニー株式会社の商標です。

保証書とアフターサービス

保証書
● この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
● 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
● 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
アフターサービス
調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも具合が悪いときは
ソニーの相談窓口にご相談ください。
保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社では本機の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を、製造打ち切り後最低7年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がございますのでご了承ください。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ソニーの相談窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
● 品名：XLR-K1M
● 故障の状態：できるだけ詳しく
● 購入年月日

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。
http://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ……………0120-333-020	フリーダイヤル ……………0120-222-330
携帯電話・PHS 一部のIP電話 ……………0466-31-2511	携帯電話・PHS 一部のIP電話 ……………0466-31-2531
受付時間 月～金：9:00～18:00 土・日・祝日：9:00～17:00	受付時間 月～金：9:00～20:00 土・日・祝日：9:00～17:00
※取扱説明書・リモコン等の輸入損壊は ごほうへお願いいたします。	
FAX (共通) 0120-333-389	
↓	
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「402」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へつなぎます。	

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

English

Before operating the product, please read this manual thoroughly and retain it for future reference.

WARNING

To reduce fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.

Keep out of reach of small children to prevent accidental swallowing.

For the Customers in the U.S.A.

CAUTION

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
— Reorient or relocate the receiving antenna.

- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

THIS DEVICE COMPLIES WITH PART 15 OF THE FCC RULES. OPERATION IS SUBJECT TO THE FOLLOWING TWO CONDITIONS:
(1) THIS DEVICE MAY NOT CAUSE HARMFUL INTERFERENCE, AND (2) THIS DEVICE MUST ACCEPT ANY INTERFERENCE RECEIVED, INCLUDING INTERFERENCE THAT MAY CAUSE UNDESIRED OPERATION.

For the Customers in Europe
Disposal of Old Electrical & Electronic Equipment (Applicable in the European Union and other European countries with separate collection systems)
This symbol on the product or on its packaging indicates that this product shall not be treated as household waste. Instead it shall be handed over to the applicable collection point for the recycling of electrical and electronic equipment. By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potential negative consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling of this product, please contact your local Civic Office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

< Notice for the customers in the countries applying EU Directives >
The manufacturer of this product is Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japan. The Authorized Representative for EMC and product safety is Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germany. For any service or guarantee matters please refer to the addresses given in separate service or guarantee documents.

Features

The XLR-K1M is a kit including an XLR Adaptor for a device equipped with a Multi Interface Shoe and a microphone. Some camera models with a Multi Interface Shoe cannot be used with this kit. For details on compatible camera models of this unit, visit the Sony website in your area, or consult your Sony dealer or local authorized Sony service facility.

Notes on use

- The microphone is a precision instrument. Do not drop, knock it, or subject it to excessive shock.
- If the microphone is placed near speakers, a howling effect (acoustic feedback) may occur. If this happens, place the microphone as far as possible from the speakers, or lower the volume of the speaker.
- Do not attach an external accessory such as an video light etc. that weighs more than 500 g to the Accessory Shoe.

A Identifying the parts

- Wind screen
- Microphone
- Microphone holder
- REC CH SELECT (INPUT1) switch
- ATT (INPUT1) switch
- INPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V) switch
- ATT (INPUT2) switch
- INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) switch
- LOW CUT (INPUT1) switch
- AUTO/MAN (CH1) switch
- AUDIO LEVEL (CH1) dial
- AUTO/MAN (CH2) switch
- AUDIO LEVEL (CH2) dial
- LOW CUT (INPUT2) switch
- Accessory Shoe
- Connector plug
- Connector protect cap
- Lock dial
- Release lever
- Cable holder
- INPUT2 jack
- INPUT1 jack

Inputting external sound: 21, 22
Selecting a sound source: 6, 8
Selecting a sound source level: 5, 7
Selecting channel setting for recording: 4
Selecting the recording level: 10, 11, 12, 13
Switching wind noise reduction to ON/OFF: 9, 14

B Attaching the XLR Adaptor

- Detach the connector protect cap from the connector plug of the XLR Adaptor.
- Connect the connector plug of the XLR Adaptor to the Multi Interface Shoe of the camera.
- Attach the XLR Adaptor to the shoe of the bracket and tighten the lock dial of the XLR Adaptor.
 - A bracket is not included with the XLR-K1M.

When using the Sony Interchangeable Lens Digital HD Video Camera Recorder that have a Multi Interface Shoe (See illustration B-2)
Attach the shoe spacer supplied with this unit to the Accessory Shoe of the camera after attaching the connector plug of the XLR Adaptor.

When detaching the XLR Adaptor

Unplug the connector plug of the XLR Adaptor from the Multi Interface Shoe beforehand. Detach the XLR Adaptor after having loosened the lock dial of the XLR Adaptor.

C Attaching the microphone

- Unlock the stopper of the microphone holder and open the cover.
- Align the convex part of the microphone with the concave part of the holder, and then place the microphone into the holder. Close the cover and lock the stopper securely.
- Be sure to place the microphone with the model name (ECM-XM1) facing upward.
- Connect the connector plug of the microphone to the INPUT1 jack on the XLR Adaptor.

Connect the connector plug of the microphone to the INPUT 1 jack if you connect one device.

- Put the microphone cable into the cable holder on the XLR Adaptor.

See “D Audio setup” for audio recording.

When detaching the microphone cable

- ① Detach the microphone from the microphone holder.
- ② Unplug the microphone plug while pressing the release lever down.

D Audio setup

Using the supplied microphone

You can record monaural sound with the super-directional microphone.

- Set the INPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V) switch to MIC+48V.
- Set the REC CH SELECT (INPUT1) switch to CH1-CH2.

This setting enables recording on both CH1 and CH2. Set the switch to CH1 if you want to record on CH1 only.

Adjusting the recording level

You can adjust the recording level input from the INPUT1/INPUT2 jacks.

You cannot adjust the recording level of the internal microphone and MIC input jack.

- Set the AUTO/MAN (CH1/CH2) switch of the channel to be adjusted to MAN.
- Turn the AUDIO LEVEL dial to adjust the volume to the proper level.
Check that the volume is at the proper level, with headphones or audio level meter.

To restore automatic adjustment

Set the AUTO/MAN (CH1/CH2) switch to AUTO.

Reducing wind noise

You can reduce wind noise input from the INPUT1/INPUT2 jacks.

Set the LOW CUT (INPUT1) switch or LOW CUT (INPUT2) switch to ON.

Using an external audio device

Set as follows when you use a microphone other than the supplied microphone or an external audio device (mixer, etc.).

- Select the sound source to be input.
Set the INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) switch according to the device to be connected to the INPUT1/INPUT2 jacks.
External audio device (mixer, etc.): LINE
Dynamic microphone or microphone with built-in battery: MIC
Microphone that is 48V phantom power compliant: MIC+48V
Notes
 - If you connect a device that does not support 48V phantom power, malfunction may result from setting this switch to MIC+48V. Check before connecting the device.
 - If noise from the unused jack bothers you, set the INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) switch of the unused jack to LINE.
- Set the input level of the microphone.
When the INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) switch is set to MIC or MIC+48V, you can set the input level with the ATT (INPUT1/INPUT2) switch. Adjust according to the microphone sensitivity. ATT 10dB is recommended when you use the supplied microphone (ECM-XM1). The input levels are as follows.
ATT 0dB：-60dBu
ATT 10dB：-50dBu
ATT 20dB：-40dBu
Notes
 - When the INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) switch is set to LINE, the input level is fixed to +4dBu. Even if you reset the ATT switch, the input level does not change.
- Set the channel to be recorded.
You can select the channel to be recorded, with the REC CH SELECT (INPUT1) switch.

Position of the REC CH SELECT (INPUT1) switch	Audio recorded on CH1 & CH2	
CH1-CH2	INPUT1	CH1 CH2
CH1	INPUT1 INPUT2	CH1 CH2

- To use a stereo microphone with two XLR (3PIN) plugs, connect Lch to the INPUT1 jack and Rch to the INPUT2 jack, and set the REC CH SELECT (INPUT1) switch to CH1.

(Continued on the reverse side.)

English
(Continued from the front side.)

Specifications

Maximum dimensions (Approx.)	XLR Adaptor (XLR-A1M) unit 111 mm × 85.5 mm × 118 mm (w / h / d) (4 3/8 in. × 3 3/8 in. × 4 3/4 in.) (excluding the cord and projecting parts) Microphone (ECM-XM1) 42 mm × 193 mm (Diameter/Length) (1 11/16 in. × 7 5/8 in.) (including the wind screen / excluding the cord)
Mass (Approx.)	XLR Adaptor (XLR-A1M) unit 217 g (7.7oz) Microphone (ECM-XM1) 118.5 g (4.2oz)
Operating temperature	0 °C to 40 °C (32 °F to 104 °F)
Storage temperature	-20 °C to +60 °C (-4 °F to +140 °F)
Input jacks:	INPUT1/INPUT2 jacks: XLR3-pin, female MIC: -60 dBu /-50 dBu /-40 dBu, 3 kΩ(kilohms) LINE: +4 dBu, 10 kΩ (kilohms) (0 dBu=0.775 Vrms)
Included items	XLR Adaptor (XLR-A1M) (1) Microphone (ECM-XM1) (1) Wind screen (1) Shoe spacer (1) Connector protect cap (1) Carrying case (1) Set of printed documentation
Design and specifications are subject to change without notice.	

“Multi Interface Shoe” is a trademark of Sony Corporation.

Français

Avant d'utiliser ce produit, prière de lire attentivement ce mode d'emploi et de le conserver pour toute référence future.

AVERTISSEMENT

Afin de réduire les risques d'incendie ou de décharge électrique, n'exposez pas cet appareil à la pluie ou à l'humidité. Rangez hors de portée des enfants pour éviter toute ingestion accidentelle.

À l'intention des clients aux É.-U.

AVERTISSEMENT

Par la présente, vous êtes avisé du fait que tout changement ou toute modification ne faisant pas l'objet d'une autorisation expresse dans le présent manuel pourrait annuler votre droit d'utiliser l'appareil.

Note

L'appareil a été testé et est conforme aux exigences d'un appareil numérique de Classe B, conformément à la Partie 15 de la réglementation de la FCC.

Ces critères sont conçus pour fournir une protection raisonnable contre les interférences nuisibles dans un environnement résidentiel. L'appareil génère, utilise et peut émettre des fréquences radio; s'il n'est pas installé et utilisé conformément aux instructions, il pourrait provoquer des interférences nuisibles aux communications radio. Cependant, il n'est pas possible de garantir que des interférences ne seront pas provoquées dans certaines conditions particulières. Si l'appareil devait provoquer des interférences nuisibles à la réception radio ou à la télévision, ce qui peut être démontré en allumant et éteignant l'appareil, il est recommandé à l'utilisateur d'essayer de corriger cette situation par l'une ou l'autre des mesures suivantes :

— Réorienter ou déplacer l'antenne réceptrice.
— Augmenter la distance entre l'appareil et le récepteur.
— Brancher l'appareil dans une prise ou sur un circuit différent de celui sur lequel le récepteur est branché.
— Consulter le détaillant ou un technicien expérimenté en radio/téléviseurs.

Cet appareil est conforme à la section 15 des règlements FCC. Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes : (1) cet appareil ne doit pas provoquer d'interférences nuisibles, (2) cet appareil doit accepter toute interférence, y compris celles susceptibles de provoquer son fonctionnement indésirable.

Pour les clients en Europe

Traitement des appareils électriques et électroniques en fin de vie (Applicable dans les pays de l'Union Européenne et aux autres pays européens disposant de systèmes de collecte sélective)

Ce symbole, apposé sur le produit ou sur son emballage, indique que ce produit ne doit pas être traité avec les déchets ménagers.

Il doit être remis à un point de collecte approprié pour le recyclage des équipements électriques et électroniques. En vous assurant que ce produit sont mis au rebut de façon appropriée, vous participez activement à la prévention des conséquences négatives que leur mauvais traitement pourrait provoquer sur l'environnement et sur la santé humaine. Le recyclage des matériaux contribue par ailleurs à la préservation des ressources naturelles. Pour toute information complémentaire au sujet du recyclage de ce produit, vous pouvez contacter votre municipalité, votre déchetterie locale ou le point de vente où vous avez acheté le produit.

< Avis aux consommateurs des pays appliquant les Directives UE >
Le fabricant de ce produit est Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japon. Le représentant autorisé pour les questions de compatibilité électromagnétique (EMC) et la sécurité des produits est Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Allemagne. Pour toute question relative au SAV ou à la garantie, merci de bien vouloir vous référer aux coordonnées contenues dans les documents relatifs au SAV ou la garantie.

Caractéristiques

Le XLR-K1M est un kit comprenant un adaptateur XLR pour appareil à griffe multi-interface et un microphone. Certains modèles d'appareils photo/caméscopes à griffe multi-interface ne peuvent pas être utilisés avec ce kit.

Pour le détail sur les modèles d'appareils photo/caméscopes compatibles avec ce microphone, consultez le site Sony de votre région, ou adressez-vous à votre revendeur Sony ou à un service après-vente agréé Sony.

Remarques sur l’emploi

- Le microphone est un instrument de précision. Ne le laissez pas tomber, ne le cognez pas et ne le soumettez pas à des chocs.
- Si le microphone est placé près d'enceintes, un hurlement (rétroaction acoustique) peut se produire. Dans ce cas, éloignez le plus possible le microphone des enceintes, ou bien réduisez le volume du microphone.
- Ne rattachez pas d'accessoire, par exemple une lampe vidéo, pesant plus de 500 g à la griffe porte-accessoire.

Identification des éléments

- Bonnette antivent
- Microphone
- Support de microphone
- Commutateur REC CH SELECT (INPUT1)
- Commutateur ATT (INPUT1)
- Commutateur INPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V)
- Commutateur ATT (INPUT2)
- Commutateur INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V)
- Commutateur LOW CUT (INPUT1)
- Commutateur AUTO/MAN (CH1)
- Molette AUDIO LEVEL (CH1)
- Commutateur AUTO/MAN (CH2)
- Molette AUDIO LEVEL (CH2)
- Commutateur LOW CUT (INPUT2)
- Griffe porte-accessoire
- Fiche-connecteur
- Capuchon de protection de connecteur
- Molette de verrouillage
- Lever de libération
- Support de câble
- Prise d'entrée INPUT2
- Prise d'entrée INPUT1

Transmission d’un son externe: 21, 22

Sélection d’une source sonore: 6, 8

Sélection du niveau d’une source sonore: 5, 7

Sélection d’un canal pour l'enregistrement: 4

Sélection du niveau d’enregistrement: 10, 11, 12, 13
Activation/désactivation de la réduction du bruit du vent: 9, 14

B Fixation de l'adaptateur XLR

1 Détachez le capuchon de protection de connecteur de la fiche-connecteur de l'adaptateur XLR.

2 Raccordez la fiche-connecteur de l'adaptateur XLR à la griffe multi-interface de l'appareil photo/caméscope.

3 Rattachez l'adaptateur XLR à la griffe du support et serrez la molette de verrouillage de l'adaptateur XLR.

- Le support n'est pas fourni avec le XLR-K1M.

Lorsqu'un caméscope numérique HD à objectif inter-changeable pourvu d'une griffe multi-interface est utilisé (Voir l'illustration ▢-2)

Rattachez l'entretoise fournie avec cet accessoire à la griffe porte-accessoire du caméscope après avoir branché la fiche-connecteur de l'adaptateur XLR.

Lorsque l'adaptateur XLR est détaché
Débranchez d'abord la fiche-connecteur de l'adaptateur XLR de la griffe multi-interface.
Détachez l'adaptateur XLR après avoir desserré la molette de verrouillage de l'adaptateur XLR.

C Fixation du microphone

1 Débloquez la fermeture du support de microphone et ouvrez le couvercle.

2 Alignez la partie convexe du microphone sur la partie concave du support, puis mettez le microphone dans le support. Fermez le couvercle et bloquez bien la fermeture.

Veillez à mettre le microphone avec le nom de modèle (ECM-XM1) orienté vers le haut.

3 Raccordez la fiche-connecteur du microphone à la prise INPUT 1 de l'adaptateur XLR.

Raccordez la fiche-connecteur du microphone à la prise INPUT 1 si vous raccordez un appareil.

4 Mettez le câble de microphone dans le support de câble sur l'adaptateur XLR.
Voir « ▣ Réglage du son » pour l'enregistrement du son.

Lorsque le câble de microphone est détaché
① Détachez le microphone du support de microphone.
② Débranchez la fiche de microphone tout en appuyant sur le levier de libération.

D Réglage du son

Utilisation du microphone fourni

Vous pouvez enregistrer le son en monophonie avec le microphone super-directionnel.

1 Réglez le commutateur INPUT1 (LINE/MIC/ MIC+48V) sur MIC+48V.

2 Réglez le commutateur REC CH SELECT (INPUT1) sur CH1-CH2.

Ce réglage permet d'enregistrer sur les deux canaux CH et CH2. Réglez le commutateur sur CH1 si vous voulez enregistrer sur CH1 seulement.

Réglage du niveau d’enregistrement

Vous pouvez régler le niveau d'enregistrement du microphone interne et de la prise d'entrée MIC.

1 Réglez le commutateur AUTO/MAN (CH1/ CH2) du canal devant être ajusté sur MAN.

2 Tournez la molette AUDIO LEVEL pour ajuster le volume au niveau souhaité.

Assurez-vous que le volume est au niveau correct avec un casque d'écoute ou un indicateur de niveau sonore.

Pour revenir au réglage automatique
Réglez le commutateur AUTO/MAN (CH1/CH2) sur AUTO.

Réduction du bruit du vent

Vous pouvez réduire le bruit du vent provenant des prises INPUT1/INPUT2.

Réglez le commutateur LOW CUT (INPUT1) ou le commutateur LOW CUT (INPUT2) sur ON.

Utilisation d’un appareil audio externe

Faites les réglages suivants lorsque vous utilisez un microphone autre que le microphone fourni ou un appareil audio externe (mixeur, etc.).

1 Sélectionnez la source sonore à transmettre.

Réglez le commutateur INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/ MIC+48V) selon l'appareil devant être branché sur les prises INPUT1/INPUT2.
Appareil audio externe (mixeur, etc.) : LINE
Microphone dynamique ou microphone avec pile intégrée : MIC
Microphone compatible ayant une alimentation fantôme de 48 V. MIC+48V

Remarques

• Si vous raccordez un appareil ne prenant pas en charge une alimentation fantôme de 48V, le réglage de ce commutateur sur MIC+48V peut entraîner un dysfonctionnement. Vérifiez avant de raccorder l'appareil.

- Si le bruit émis par la prise non utilisée vous dérange, réglez le commutateur INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) de la prise non utilisée sur LINE.

2 Réglez le niveau d’entrée du microphone.

Lorsque le commutateur INPUT1/INPUT2 (LINE/ MIC/MIC+48V) est réglé sur MIC ou MIC+48V, vous pouvez régler le niveau d'entrée avec le commutateur ATT (INPUT1/INPUT2).

Réglez-le en fonction de la sensibilité du microphone.
ATT 10dB est recommandé lorsque vous utilisez le microphone fourni (ECM-XM1).

Les niveaux d'entrée sont les suivants.

ATT 0dB : -60 dBu

ATT 10dB : -50 dBu

ATT 20dB : -40 dBu

Remarques

- Lorsque le commutateur INPUT1/INPUT2 (LINE/ MIC/MIC+48V) est réglé sur LINE, le niveau d'entrée reste fixé sur 4dBu. Même si le commutateur ATT est réinitialisé, le niveau d'entrée ne change pas.

3 Réglez le canal à enregistrer.

Vous pouvez sélectionner le canal à enregistrer avec le commutateur REC CH SELECT (INPUT1).

Position du commutateur REC CH SELECT (INPUT1)	Son enregistré sur CH1 & CH2		
CH1-CH2	INPUT1	↗	CH1 CH2
	INPUT1	→	CH1
CH1	INPUT2	→	CH2

- Pour utiliser un microphone stéréo avec deux fiches XLR (3PIN), raccordez le canal gauche à la prise INPUT1 et le canal droit à la prise INPUT2, et réglez le commutateur REC CH SELECT (INPUT1) sur CH1.

Spécifications

Dimensions (environ)	Adaptateur XLR (XLR-A1M) 111 mm × 85,5 mm × 118 mm (l / h / p) (4 3/8 in. × 3 3/8 in. × 4 3/4 in.) (cordon et parties saillantes non compris) Microphone (ECM-XM1) 42 mm × 193 mm (diamètre/ longueur) (1 11/16 in. × 7 5/8 in.) (bonnette antivent comprise / cordon non compris) Adaptateur XLR (XLR-A1M) 217 g (7,7 oz) Microphone (ECM-XM1) 118,5 g (4,2 oz) 0 °C à 40 °C (32 °F à 104 °F)
Poids (environ)	
Température de fonctionnement	
Température d'entreposage	-20 °C à +60 °C (-4 °F à +140 °F)
Prises d'entrée:	Prises INPUT1/INPUT2 : XLR 3 broches, femelle MIC : -60 dBu /-50 dBu /-40 dBu, 3 kΩ (kilohms) LINE : +4 dBu, 10 kΩ (kilohms) (0 dBu=0,775 efficace)
Articles inclus	Adaptateur XLR (XLR-A1M) (1) Microphone (ECM-XM1) (1) Bonnette antivent (1) Entretoise de griffe (1) Capuchon de protection de connecteur (1) Étui de transport (1) Jeu de documents imprimés

La conception et les spécifications peuvent être modifiées sans préavis.

« Multi Interface Shoe » est une marque commerciale de Sony Corporation.

中文（简）

在操作本产品前，请通读本手册，然后保存好本手册以备将来参考。

警告

为减少发生火灾或触电的危险，请勿让本装置淋雨或受潮。
应避免儿童触及，以防误吞。

特性

XLR-K1M 是一款套装产品，它包括 XLR 适配器（用于配备多接口热靴的设备）及麦克风。有些带有多接口热靴的相机/摄像机并不能使用本套装。

有关与本装置兼容的相机/摄像机型号的详细信息，请访问所在地区的 Sony 网站，或者咨询您的 Sony 经销商或当地的 Sony 授权服务机构。

使用须知

- 本款麦克风属精密设备。 请勿使其摔落，或者受到撞击或过大震动。
- 如果麦克风位于扬声器旁边，可能会有呼啸声（回声）。 这种情况下，请将麦克风尽量远离扬声器，或者调低扬声器的音量。
- 请勿在配件热靴上安装重量超过 500 g 的外部配件，如摄像头。

A 部件识别

- 挡风罩
- 麦克风
- 麦克风架
- REC CH SELECT (INPUT1) 开关
- ATT (INPUT1) 开关
- INPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V) 开关
- ATT (INPUT2) 开关
- INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) 开关
- LOW CUT (INPUT1) 开关
- AUTO/MAN (CH1) 开关
- AUDIO LEVEL (CH1) 转盘
- AUTO/MAN (CH2) 开关
- AUDIO LEVEL (CH2) 转盘
- LOW CUT (INPUT2) 开关
- 配件热靴
- 连接器插头
- 连接器保护帽
- 锁定转盘
- 释放杆
- 电缆架
- INPUT2 插孔
- INPUT1 插孔

输入外部声音： 21, 22

选择声源： 6, 8

选择声源电平： 5, 7

选择记录时的声道设置： 4

选择记录电平： 10, 11, 12, 13

开/关降噪功能： 9, 14

B 安装 XLR 适配器

- 取下 XLR 适配器的连接器插头上的连接器保护帽。
- 将 XLR 适配器的连接器插头连接至相机/摄像机的多接口热靴。
- 将 XLR 适配器安装到支架的热靴上，然后将 XLR 适配器的锁定转盘拧紧。
 - XLR-K1M 未附带支架。

使用带有多接口热靴的 Sony 可更换镜头数码相机 HD 录录一体机时（参见图 ▢-2）
在安装好 XLR 适配器的连接器插头后，请将本装置附带的热靴隔离垫片安装到相机/摄像机的配件热靴上。

拆卸 XLR 适配器时

预先从多接口热靴上拔下 XLR 适配器的连接器插头。
松开 XLR 适配器的锁定转盘，然后将 XLR 适配器卸下。

C 安装麦克风

- 松开麦克风架的制动器，打开盖子。
- 将麦克风的凸面部分与麦克风架的凹面部分对准，然后将麦克风放入支架中。关上盖子并将制动器牢牢锁紧。
放置麦克风时，请务必让型号名 (ECM-XM1) 朝上。
- 将麦克风的连接器插头连接至 XLR 适配器的 INPUT1 插孔。
如果只连接一台设备，可将麦克风的连接器插头连接至 INPUT1 插孔。
- 将麦克风电缆放入 XLR 适配器的电缆架中。有关录音事宜，请参阅 ▣ 音频设置 。

拆卸麦克风电缆时

① 将麦克风从麦克风架上卸下。

② 下压释放杆的同时拔下麦克风插头。

D 音频设置

使用附带的麦克风

您可以通过超级指向式麦克风录制单声道声音。

1 将 INPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V) 开关设为 MIC+48V。

2 将 REC CH SELECT (INPUT1) 开关设为 CH1-CH2。

此设置可将声音同时记录到 CH1 和 CH2 上。 如果只想记录到 CH1 上，请将此开关设为 CH1。

调节记录电平

您可以调节从 INPUT1/INPUT2 插孔输入的记录电平。
内部麦克风及 MIC 输入插孔的记录电平是无法调节的。

1 将所要调节的声道的 AUTO/MAN (CH1/ CH2) 开关设为 MAN。

2 转动 AUDIO LEVEL 转盘，将音量调节至适当的水平。

利用耳机或音量检测仪检查音量是否合适。

如需恢复自动调节

将 AUTO/MAN (CH1/CH2) 开关设为 AUTO。

降噪噪

您可以降低从 INPUT1/INPUT2 插孔输入的风噪。

将 LOW CUT (INPUT1) 开关或 LOW CUT (INPUT2) 开关设为 ON。

使用外部音频设备

使用非附带的麦克风或外部音频设备（混音器等）时，请按如下所示进行设置。

1 选择所要输入的来源。

根据要连接至 INPUT1/INPUT2 插孔的设备，设置 INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/ MIC+48V) 开关。
外部音频设备（混音器等） : LINE
动态麦克风或带内置电池的麦克风： MIC
符合 48V 幻路供电标准的麦克风： MIC+48V

注意

- 如果连接的设备不支持 48V 幻路供电，则将此开关设为 MIC+48V 可能会导致故障。请在连接设备之前进行核查。
- 如果是未用的插孔发出噪音，请将此插孔的 INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/ MIC+48V) 开关设为 LINE。

2 设置麦克风的输入电平。

当 INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) 开关设为 MIC 或 MIC+48V 时，可以利用 ATT (INPUT1/INPUT2) 开关设置输入电平。
请根据麦克风的灵敏度进行相应调节。
使用附带的麦克风 (ECM-XM1) 时，建议选择 ATT 10dB。
输入电平如下所示。
ATT 0dB: -60dBu
ATT 10dB: -50dBu
ATT 20dB: -40dBu

注意

- 当 INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/ MIC+48V) 开关设为 LINE 时，输入电平将固定为 +4dBu。即使重置 ATT 开关，输入电平也不会发生改变。

3 设置记录声道。

利用 REC CH SELECT (INPUT1) 开关可以选择记录所用的声道。

REC CH SELECT (INPUT1) 开关的位置	音频记录至 CH1 和 CH2		
CH1.CH2	INPUT1	↗	CH1 CH2
	INPUT1	→	CH1
CH1	INPUT2	→	CH2

- 要通过两个 XLR (3PIN) 插头使用立体声麦克风，请将 L 声道连接至 INPUT1 插孔，将 R 声道连接至 INPUT2 插孔，同时将 REC CH SELECT (INPUT1) 开关设为 CH1。

规格

尺寸（约）	XLR 适配器 (XLR-A1M) 单元 111 mm × 85.5 mm × 118 mm (宽/高/长)（不包括连接线及突出部位） 麦克风 (ECM-XM1) 42 mm × 193 mm（直径/长度）（包括挡风罩/不包括连接线）
质量（约）	XLR 适配器 (XLR-A1M) 单元 217 g 麦克风 (ECM-XM1) 118.5 g 0 ° C - 40 ° C -20 ° C - +60 ° C
操作温度	INPUT1/INPUT2 插孔：XLR (3PIN)，下凹
存放温度	MIC: -60 dBu /-50 dBu /-40 dBu, 3 kΩ（千欧）
输入插孔：	LINE: +4 dBu, 10 kΩ（千欧）(0 dBu=0.775 Vrms)
所含物品	XLR 适配器 (XLR-A1M) (1) 麦克风 (ECM-XM1) (1) 挡风罩 (1) 热靴隔离垫片 (1) 连接器保护帽 (1) 携带包 (1) 成套印刷文件

设计或规格如有变动，恕不另行通知。

“Multi Interface Shoe” 是 Sony Corporation 的商标。

产品

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
内置线路板	×	○	○	○	○	○
外壳	×	○	○	○	○	○
附件	×	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T11363-2006标准规定的限量要求以下。